

## 「歯がしみる！」知覚過敏に注意！

子どもの歯が「しみる」と聞くと、虫歯の他に知覚過敏が原因の場合もあります。知覚過敏の原因や家庭でできる予防について、みどり歯科医院の院長・松尾美登利先生にお話を伺いました。



みどり歯科医院  
院長 松尾 美登利  
☎0897-55-4400  
九州歯科大学卒業  
同校臨床研修医 歯周病課程修了

## ① 子どもの知覚過敏



Q 子どもでも知覚過敏になることはありますか？

A はい、子どもでも知覚過敏になることがあります。特に生えだばかりの永久歯は、歯の表面のエナメル質がまだ薄く未成熟なため、大人に比べて外からの刺激を受けやすい状態です。6～12歳頃の生え替わり時期に「歯がしみる」と言う場合は、知覚過敏に似た症状が出る場合があります。

Q 冷たいものを食べると歯がしみるのは知覚過敏ですか？

A 知覚過敏の代表的なサインです。歯の根元が露出したり、エナメル質が薄くなったりすると、歯の内部が刺激を受けやすくなります。虫歯や歯のひびでも同じような症状が出るため、続く場合は早めの受診がおすすです。

## ② 虫歯との違いと家庭ケア

Q 知覚過敏と虫歯はどう見分ければよいですか？

A 知覚過敏は、刺激を受けた瞬間だけしみて、短時間でおさまることが多く、歯が黒くなっていないことも多いです。虫歯は痛みが続いたり、何もしていなくても痛むことがあります。

Q 家庭でできる予防はありますか？

A 力を入れて磨くと歯の表面や歯ぐきを傷めるため、柔らかめの歯ブラシでやさしく丁寧に磨くことが大切です。フッ素入り歯磨き粉は歯を強くする働きがあります。

## ③ 最後に

Q 歯医者を受診した方がよい症状の目安は？



A 冷たいものや甘いもの、風で歯がしみる、歯の根元が瘦せてきた、1～2週間続く時も受診をおすすめします。

## 歯から始まる 一生の笑顔

プレオールソも導入！

こども  
矯正

お子さまの笑顔を守るために、みどり歯科では、一人ひとりに合ったやさしい治療を大切にしています。『痛くない・怖くない』を心がけ、楽しく通える歯医者さんを目指しています。

## 歯並びの改善

床装置を使用し、永久歯に生え変わる前にあごの成長を利用して歯列を整えます。痛みが少なく取り外し可能で衛生的に使用できます。

## 受け口改善

3歳を過ぎても受け口のままでと、下あご前に成長しすぎてしまい、かみ合わせが悪くなる可能性があります。受け口改善マウスピース「ムーシールド」を使用し、乳歯列期からあごの正しい成長を促し、受け口を改善します。

お子様の「だ液検査」もできます！  
科学的根拠から導く口腔ケアプログラム  
まずはお気軽にご相談ください



医療法人

みどり歯科医院

Tel. 0897-55-4400  
西条市飯岡2026-4



HP▲